



令和7年度 江戸川区立小松川小学校 学校経営計画

小松川小学校 校長 坂野 眞太郎

【東京の目指す教育】

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望をもって、自ら伸び、育つ教育

《基軸となる3つの「学び」》

- 子供の個性と成長に合わせて意欲を引き出す「学び」
- 子供の成長を社会全体で支え、主体的に学び続ける力を育む「学び」
- ICTの活用によって、子供たち一人一人の力を最大限に伸ばす「学び」

【江戸川区教育委員会 教育目標】

「生きる力」の源である「知・徳・体」の力を身に付け、国際社会、地域社会の各界に貢献できる人間として、心身ともに健やかに成長することを願い、以下の人を育てる教育を推進する。

- 自他を尊重し、人間性豊かで道徳心のある人
- 自ら学び実践し、共に教え合い、育ち合う、創造力と協調性豊かな人
- 将来の夢をもち、個性豊かに、もてる力を発揮して、進んで社会に貢献できる人

確かな学力の充実・向上

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- 学びに向かう力の育成
- 知的好奇心・思考力・判断力・表現力の育成
- 読書を通じた探究的な学習の確立
- タブレットを活用した個別最適な学びの実現

人権尊重の精神の育成

- 自他を大切にできる児童の育成
- 「考え、議論する」道徳教育の実践
- いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応の充実
- 人権感覚を高めるための校内環境及び言語環境の整備

体力向上の推進

- 体育科の指導の充実及び「運動の日常化」の推進
- 生涯にわたり運動に親しもうとする態度の育成
- 「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底

《小松川小学校 学校教育目標》

- ◎心豊かな 思いやりのある子
- よく考え 進んでやりとおすすめ子
- 健康な 明るい子

～自他を大切にする学校～

【目指す学校像】

- 「わかる」「できる」喜びを味わい、
確かな学力を身に付けられる学校
- 教師一人一人がやりがいを感じ、
情熱をもって教育活動を実践できる学校
- 家庭・地域と協力し、心豊かな児童が育つ学校
- 学校や地域の歴史、環境を大切にし、
故郷として誇りがもてる学校

【学校経営の重点】

- 子供一人一人を深く理解する。
- 学びに向かう力を育む授業をする。
- 子供たちにとって学校を「安心・安全な空間」にする。

特別支援教育の推進

- 授業のユニバーサルデザイン化の推進
- 特支コーディネーターを中心とした支援体制の確立
- 支援を必要とする児童の把握と支援の充実
- 外部機関との連携の充実
- 学校不適応児童に対する組織的対応の充実

自他の命を守る安全教育の推進

- 避難訓練・安全指導の充実
- 危険予測・回避能力の育成
- 食物アレルギー対応と事故防止の徹底
- 校内及び通学路の定期的な点検

開かれた学校づくりの推進

- 地域と共に歩む学校体制・地域環境の整備
- 学校評議委員会からの指導、助言の活用
- 学校だより・学年だより・学校HPなどによる情報発信
- 学校応援団との連携・協力体制の充実